

日水コンの大規模災害への取り組み

大規模災害において日水コンは災害査定図書の作成を中心に、各段階で支援に取り組んできました。阪神・淡路大震災、北海道胆振東部地震では発災後2～3日で緊急措置対応から支援に参画しています。以下に下水道施設の復旧に向けた業務の流れと、これまで日水コンが支援した取組内容をまとめました。

災害の名称 発災日	緊急 措置	一次 調査	二次 調査	査定図書 作成	査定 受検	詳細 設計	重要変更 協議	主な取組内容
阪神・淡路大震災 1995/01/17						※		●神戸市からの支援依頼を受けて、発災3日後に東灘処理場へ調査班を派遣 ●調査班に加え、設計班を創設し、調査と設計を同時に実施できる体制を確立 ●応急復旧設計と査定図書を同時に作成 ●東灘処理場の緊急措置と応急仮復旧の方針策定
新潟県中越地震 2004/10/23						※		●現地で査定図書作成業務に従事(延べ人数約200人) ●査定計上基準の検討(査定図書スタイルを確立) ●通称「グネグネ図」も本災害査定図書作成時に名付けられる など
東日本大震災 2011/03/11						※		●街の復旧に合わせた下水道の復旧設計 ●災害査定に加えて、協議設計+保留解除資料も作成 ●水コン協事務局として耐震指針の改訂に向けた技術的支援 など
熊本地震 2016/04/14 2016/04/16						※		●現地対策本部の設置【水コン協】 ●全体会議(県・市・支援都市)への参加【水コン協 本部活動】 ●復旧基本方針の策定と説明会の実施【水コン協 本部活動】 など
西日本豪雨 2018/06/28 ～2018/07/08						※		●浸水被害に対する支援 ●早期復旧に向けた一次調査・二次調査路線の抽出 ●河川災と下水道災の調整を実施 など
北海道胆振 東部地震 2018/09/06						※		●発災2日後から現地支援 ●各自治体の被災都市別復旧方針一覧表を作成 ●傾斜計付きTVカメラ調査機の利用による査定図書の効率化 など
令和6年 能登半島地震 2024/01/01								●発災3日後から現地支援(一次調査から参画) ●簡素化査定の実施→ グネグネ図に簡素化適用 ●査定図書スタイル、工事参考単価の統一化【水コン協】 ●査定結果の情報共有【水コン協】

※：阪神・淡路大震災～北海道胆振東部地震の詳細設計は査定図書作成で実施。

一次調査 | クラウド型下水道管路台帳システムの活用(北海道胆振東部地震より)



災害時におけるメリット

- 下水道台帳図の印刷が不要
- 紙よりハンドリング、位置関係の把握が容易
- 現地で調査結果を即座に記録できる
- 欲しい情報がすぐわかる
- 情報共有が容易

BCP机上訓練 | 大規模災害の取組みを踏まえたサポート事例(三重県下水道事業広域化・共同化)



早期復旧に向けて、下水道管路施設の被災状況を把握するためには「どのように一次調査を実施すればよいか?」をテーマに、伊勢市をフィールドとして、三重県内全市町を5グループに分けて、主に右記の事項についてグループワークをしていただきました。神奈川県厚木市のBCP訓練をもとに、三重県では広域化・共同化として実施しました。

机上訓練を実施して
良かった点
(広域化・共同化アンケート結果より)

- 他自治体の取組みがわかり、今後のBCPの改善に参考になった
- グループワークで様々な意見が聞け、他自治体との情報共有が図れたことが良かった
- 訓練を通じて、準備・備えが日頃から大事なことだと感じた

大規模災害支援における 日水コンの強み

- 日本全国の各地域で発生した大規模災害の復旧支援に携わってきた経験
- 発災後の初動対応から詳細設計(重要変更協議含む)までをトータルで支援できる体制
- 早期復旧に向けた復旧基本方針の策定支援の実績
- 自然災害に強い水インフラ構築を目的とした各種指針・マニュアルの改訂や委員会へ積極的に参加
- 非常時に備えた下水道BCPの策定や机上訓練を実施→[神奈川県厚木市](#)、[三重県下水道事業広域化・共同化](#)



訓練から災害支援まで、
我々が全力で
サポートいたします!